

- 問1 東大寺南大門に安置されている、力強い表現が特徴の金剛力士像を制作した仏師は誰？
- 問2 日蓮が人々の救いとなるとして唱えることを推奨した「南無妙法蓮華経」という言葉を何という？
- 問3 1274年にモンゴル帝国が初めて日本を襲撃した戦いを何という？
- 問4 踊り念仏を広めながら全国を巡る一遍の様子が描かれている絵巻物を何という？
- 問5 11世紀末、ローマ教皇の呼びかけで、イスラム勢力から聖地エルサレムを奪還するために組織された遠征軍を何という？
- 問6 『枕草子』や『方丈記』と並び、日本文学における重要な3つの随筆をまとめて何という？
- 問7 鎌倉時代に時宗を開き、踊り念仏で教えを広めた人物は誰？
- 問8 鎌倉時代に広まった新しい仏教の一つである時宗を開き、念仏を唱えながら踊るといふ布教方法をとった僧侶は誰？
- 問9 『徒然草』のように、筆者が日々の出来事や感じたことを自由に書き留める文学形式を何という？
- 問10 鎌倉時代に、承久の乱で朝廷側と戦い、勝利を収めた一族を何という？
- 問11 北条泰時が制定した御成敗式目の別称で、制定された年号に由来する呼び名を何という？
- 問12 元軍の再来に備えて、北条時宗が博多湾岸に築かせた防壁を何という？
- 問13 運慶が快慶らと協力して制作した、奈良の東大寺南大門に安置されている有名な彫刻作品を何という？
- 問14 鴨長明が乱世における世の無常を記した、日本三大随筆の一つとされる作品を何という？
- 問15 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして起こし、幕府がこれを鎮圧した戦いを何という？
- 問16 鎌倉時代に領地を複数の子に分けて引き継ぐ慣習を何という？
- 問17 平安時代末期に、ただひたすら念仏を唱える教えを説き、浄土宗を開いた僧は誰？
- 問18 1232年に日本初の武家法である『御成敗式目』を制定した、鎌倉幕府の第3代執権は誰？
- 問19 鎌倉時代、源頼朝が全国の荘園や公領の管理・年貢徴収をさせるために設置した役職を何という？
- 問20 鎌倉時代に臨済宗を日本に伝えた僧侶は誰？
- 問21 『方丈記』や『枕草子』、『徒然草』を総称して何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 運慶	運慶は、それまでの仏像と異なり、筋肉の動きや表情の細部までリアルに表現する彫刻手法を確立しました。快慶らとともに制作した東大寺南大門の金剛力士像は、その写実的な表現の頂点といえます。この様式は、当時の人々に強い精神的なインパクトを与えました。
問2	答え 題目	日蓮は『法華経』の功德を信じ、その題目である「南無妙法蓮華経」と唱えることこそが、最も確実な救済の手段であると説きました。これを「唱題（しょうだい）」と呼びます。
問3	答え 文永の役	この戦いは文永の役と呼ばれ、元軍は対馬や壱岐を占領した後に博多湾に上陸しました。日本の武士は集団戦法を用いる元軍に苦戦しましたが、嵐の影響などで元軍が撤退したため、大きな戦禍は最小限に留まりました。
問4	答え 一遍上人絵伝	一遍上人絵伝は、時宗の開祖・一遍が各地を巡り、踊り念仏を唱えて多くの人々に救済を説く姿を描いています。当時の風景や服装、人々の様子が細部まで克明に描写されているのが特徴です。
問5	答え 十字軍	1095年、ローマ教皇ウルバヌス2世の呼びかけにより、聖地を奪還するための軍勢が組織されました。遠征は複数回にわたって行われ、盾に十字の印をつけたことから「十字軍」と呼ばれます。
問6	答え 三大随筆	『枕草子』（清少納言）、『方丈記』（鴨長明）、『徒然草』（吉田兼好）の3つを総称して「三大随筆」と呼びます。それぞれ平安時代中期、鎌倉時代初期、鎌倉時代末期に執筆されました。
問7	答え 一遍	一遍は、踊りながら念仏を唱える「踊り念仏」を行い、全国を旅して信仰を広めました。この教えは時宗と呼ばれ、形式にこだわらず、念仏を唱えることで誰でも極楽浄土へ行けると説きました。一遍が全国各地で念仏札を配ったことも、民衆の間で信仰が広まった大きな要因となりました。
問8	答え 一遍	一遍は時宗の開祖であり、念仏を唱えることが救済につながると説きました。特に「踊り念仏」というユニークな布教活動を通じ、全国を回って信者を獲得しました。特定の教理を学ぶことよりも、ひたすら念仏を唱えるという平易な教えが特徴です。
問9	答え 随筆	随筆（エッセイ）は、決まった形式に縛られず、個人の内面や世の中に対する洞察を記すものです。鎌倉時代には吉田兼好の『徒然草』が、平安時代の清少納言の『枕草子』と並ぶ代表的な随筆として知られます。
問10	答え 北条氏	承久の乱が起こると、執権・北条義時のもとで幕府軍は京都へ進軍しました。北条政子の演説で御家人を鼓舞し、勝利を収めたことで、全国的な支配体制が確固たるものになりました。
問11	答え 貞永式目	制定された1232年の元号が「貞永」であったため、御成敗式目は「貞永式目」とも呼ばれます。特に、守護の権限を警察・裁判権に限定する「大犯三箇条」などが規定され、御家人の権利を守る内容が含まれていました。
問12	答え 石築地	執権・北条時宗は、博多湾の海岸線に沿って高さ約2メートルにも及ぶ石の壁、石築地（元寇防塁）を築かせました。これは騎馬武者が元軍の上陸を食い止めるための強固な障壁として機能し、後にくる元軍の再襲来（弘安の役）で大きな効果を発揮しました。
問13	答え 金剛力士像	東大寺南大門に配置された金剛力士像は、運慶と快慶らの工房が分担して短期間で完成させました。筋肉の盛り上がりや血管の浮き出た表現、衣のひだの動きなど、極めて写実的で生命感あふれる特徴を持っています。
問14	答え 方丈記	『方丈記』は、こうした激動の時代を生きた鴨長明による随筆です。作者自身が世俗を離れて山の中に住まい、人々の苦しみや災害の恐ろしさ、そしてこの世がいかに儚いものであるかを鋭い洞察で綴っています。「ゆく河の流れは絶えずして」という有名な冒頭文は、鎌倉時代の文学を象徴する無常観を端的に表しています。
問15	答え 承久の乱	1221年、後鳥羽上皇は幕府を倒すよう命じましたが、北条政子の演説で結束した幕府軍が京都へ進軍し、朝廷軍を撃破しました。この勝利により、幕府の権力は決定的なものとなりました。
問16	答え 分割相続	分割相続とは、武士の家督を継ぐ際に、所有する領地を子供たちで等しく分ける方法です。当初は家が維持できていましたが、相続を繰り返すたびに一人の持つ土地が小さくなり、生活が苦しくなる武士が増えました。これが御家人の困窮を招き、幕府の権威が低下する一因となりました。
問17	答え 法然	法然は、ただ念仏をとなえることで阿弥陀仏の救いを得られるという「専修念仏」の教えを掲げ、日本初の念仏専用の宗派である浄土宗を開きました。身分や学問の有無を問わず救われる教えは、人々に大きな希望を与えました。
問18	答え 北条泰時	北条泰時は、御家人の利益を守り、争いを解決するために「御成敗式目」を制定しました。これは武士社会の道徳に基づいた最初の法律であり、裁判の公平性を担保する役割を担いました。
問19	答え 地頭	1185年、頼朝は朝廷から各地への「地頭」の設置を認めさせました。地頭は、荘園や公領において年貢の取り立てや、土地の管理・警察的な役割を担いました。これにより、幕府の権力が全国各地に及ぶようになり、武士が実質的な地方支配の主役となりました。
問20	答え 栄西	栄西は二度中国へ渡り、そこで修行して帰国後に臨済宗を伝えました。彼は座禅によって悟りを開くことを説き、武士たちの間に広く支持されました。また、宋からお茶の種を持ち帰ったことでも有名です。
問21	答え 随筆	随筆は、決まった形式にとらわれず、筆者が感じたことや考えたことを自由な文章でまとめたものです。特に『方丈記』は鎌倉時代の不安定な世相を、『枕草子』は平安時代の貴族の美意識を、『徒然草』は鎌倉時代末期の洗練された価値観をそれぞれ鮮やかに描き出しています。